

平成 26 年 8 月 6 日

### スターダスト レビューが福島大学の取組みを支援

「夢伝説」、「今夜だけきっと」、「木蘭の涙」などで知られる音楽グループ「スターダスト レビュー」は、東日本大震災直後から全国ライブを通じてファンの皆さまから義援金をお預かりして、これまで多くの被災地に寄附を行なってきております。

今回、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」が取り組んでいる「福島未来を担う子ども・若者」への支援活動に対し、38,918,502 円の義援金をご寄附いただくことになりました。

7月27日(日)、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」で開催された復興応援ライブイベントにおいて、「スターダスト レビュー」から発表及び寄附金目録の贈呈が行われました。

このたび、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」では、「夢伝説」、「今夜だけきっと」や「木蘭の涙」などの数々のヒット曲を持つ音楽グループ「スターダスト レビュー」から、ファンの皆さまからお預かりした義援金を所属事務所を通じてご寄附いただきました。

うつくしまふくしま未来支援センターでは、この寄附金を「福島未来を担う子ども・若者」の学びや経験を促進するためのスタートアップ活動資金として受け入れ、持続的な支援が可能になるよう「福島めばえ助成金」として管理し、運用いたします。併せて、「福島の地域が抱える課題の掘り起し」に努めて、被災地のニーズに本当に応える支援に積極的に取り組むほか、「支援プロセスの可視化」にも努めてまいります。

#### 【「福島めばえ助成金」担当スタッフ】

うつくしまふくしま未来支援センター 開沼 博 特任研究員

(お問い合わせ先)

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

担当 千明 精一 電話：024-504-2833

「スターダスト レビュー」は、ファンの皆さまからお預かりした義援金を福島大学へ寄附すると7月27日南相馬市民文化会館「ゆめはっと」でのライブで発表

「夢伝説」、「今夜だけきつと」、「木蘭の涙」など、数々のヒット曲を持つ音楽グループ「スターダスト レビュー」は所属事務所を通して、ファンの皆さまからお預かりした義援金を「国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」へ38,918,502円を寄附すると発表しました。

うつくしまふくしま未来支援センターでは、この義援金を元に、持続的な支援が可能になるよう「福島めばえ助成金」を設けて、「福島未来を担う子ども・若者」の学びや経験を促進するために運用してまいります。

「スターダスト レビュー」は、東日本大震災直後、全国ライブを開催した際にファンの皆さまから義援金をお預かりし、これまで様々な機会を通じて被災地に寄附を行ってきました。

今回、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」が取り組んでいます「福島未来を担う子ども・若者」への支援活動に対して、2013年12月に東京・大阪で開催したチャリティーコンサートの収益金を含め、各地ライブ会場にてお預かりした義援金全額を寄附することに決めました。

「福島めばえ助成金」は、「福島の地域が抱える課題の掘り起こし」と「支援プロセスの可視化」を重視しています。これまで、第三者機関を通して被災地に義援金を寄附しても、それが本当に被災地のニーズに込んでいるのか、被災地においてどのように使われているのかわかりづらいという声がありました。

本助成金では、自らの義援金が具体的に福島のために役だっているという「手触り感」を大切にいたします。県内各地の住民に話を聞きながら、今、地域やそこで生きる人々に必要とされているものが何なのかを明確にした上で様々な支援を行ってまいります。また、そのプロセス自体をインターネット等で発信することで、さらなる支援の手が集まり続けることを目指します。

このような基金的運用とそれを通じた地域課題の発見・解決の支援を大学が行うケースは少ない。

「スターダスト レビュー」からの「うつくしまふくしま未来支援センター」への寄附については、7月27日に南相馬市民文化会館「ゆめはっと」で行われた『復興応援 スターダスト レビューア・カペラ&アコースティックフリーライブ「一緒に歌いませんか」』において発表されました。

音楽グループ「スターダスト レビュー」とは？

1981年、アルバム『STARDUST REVUE』、シングル「シュガーはお年頃」でデビュー。1984年に発売された5枚目のシングル「夢伝説」がカルピスのCMソングに起用されヒット曲となりました。以来、数々の話題作を発表するとともに、全国をライブで回り続け、東北も頻繁に訪れています。現在、NHK「LIFE!」エンディングテーマなど、テレビ・ラジオ・CM等にその楽曲が使用される一方で、「要のある音楽」(JFN系列で全国放送、ふくしまFMでも放送中)などの番組にも出演しています。

この時期に「福島めばえ助成金」を設けた理由は？

現在、福島の問題、とりわけ「子ども・若者」の問題は複雑化する一方で、そこに対する社会の無関心化・忘却が進んでいます。その中長期にわたる影響に対応するには、単発の寄附金などによる支援ではなく、持続的に支援の手を集めるための受け口が必要です。この「福島めばえ助成金」を設けることによって、日本全国の人々が福島への「手触り感」のある支援をいつでも気軽にできるようにすることを目指しています。

運用の主体は？

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員開沼博研究室内のプロジェクト「福島学構築プロジェクト」が、先述した課題の掘り起こし、支援プロセスの可視化、自治体や住民への様々な支援を行ってまいります。

義援金の寄附に至った経緯は？

「スターダスト レビュー」の根本要は、1998年からJFNにてラジオ番組「要のある音楽」を担当しています。一方、現在、福島大うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員の開沼博がJFNのラジオ番組「サードプレイズ：この震災を語る本当の言葉を探して」に出演しており、JFNが取り持つ形でこのたびの寄附が決まりました。